



## 地球温暖化対策実施状況報告書

平成 30 年 7 月 23 日

香川県知事 殿

## 報告者

住所 香川県三豊市財田町財田上 1 3 2 8 - 1

氏名 四国明治株式会社

代表取締役社長

簗口 芳朗



香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	09 食料品製造業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	主に牛乳、乳飲料、ヨーグルトの製造、及び乳製品の販売を行っている。
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	平成 30 年 8 月 31 日
実施状況の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：弊社ホームページ
連絡先	担当部署 香川工場生産部装置技術課 担当者 漆谷 満 電話番号 0875-56-8820 F A X 番号 0875-56-8821 電子メールアドレス mitsuru.urushitani@shikoku.meiji.com

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。  
2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

## 地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 29 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>工場内生産ライン毎のエネルギー監視の強化。</li> <li>工場内照明の一部をLED化した。</li> <li>天井裏蒸気配管の固定部（未保温）に保温材を取り付けた。</li> <li>天井裏蒸気配管の劣化した保温材の一部を更新した。</li> </ul>					
温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度（平成 29 年度） 二酸化炭素換算(t)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 森林の整備等			1.5 t-CO <sub>2</sub>			
	<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO <sub>2</sub>			
	グリーン電力証書の購入			t-CO <sub>2</sub>			
	グリーン熱証書の購入			t-CO <sub>2</sub>			
	オフセット・クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>			
	国内クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>			
	J-クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>			
合 計			① 1 t-CO <sub>2</sub>				
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (平成 28 年度)	目標年度 (平成 31 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 29 年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 8,443 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算(t)) 7,936 t-CO <sub>2</sub>	94.0	(二酸化炭素換算(t))③ 7,515 t-CO <sub>2</sub>	89.0	
	<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 8,443 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算(t)) 7,936 t-CO <sub>2</sub>	94.0	(二酸化炭素換算(t))③-① 7,514 t-CO <sub>2</sub>	89.0	
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B						
	温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B						
排出量等の 増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年11月より生産ラインを1ライン停止させた（エネルギー使用量の減少）。</li> <li>天井裏の蒸気配管の固定部（未保温）の保温、及び照明LED化を実施した。</li> <li>上記2項目により、二酸化炭素の排出量が減少した。</li> </ul>						
特記事項							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。